

# ししめ 議会だより



▲水鉛町内会もちつきの1コマ

No. 47  
12月定例会

**6町合併協議会設置議案可決**  
**くらしを守る大切な議案**  
**補正予算**  
**委員会報告**  
**一般質問 厳しく町政を問う**

2  
4  
6  
8  
10

ししめ議会だより 第47号

◇発行・福岡県志免町議会 ◇編集・議会広報特別委員会  
 ◇発行日・平成20年2月1日 ◇印刷・小林印刷(株)

〒811-2292 福岡県糟屋郡志免町中央1丁目1-1

## 新企画

# あの質問はどうなったの?

(これから各議員の一般質問のその後を追跡掲載します)

※追跡テーマを出されていない方は掲載していません。

議員名	追跡テーマ
堤 久美子	日本一の花づくりの町
大熊 則雄	シーメイト多目的グラウンドの砂ボコリ対策
助村 千代子	子どもへの暴力防止プログラム(CAP)
丸山 真智子	ボランティアの町づくり体制づくり
吉住 龍太郎	古紙回収業者助成金の廃止
牛房 良嗣	行政改革
大西 勇	臓器移植の提供
西川 蓉子	機構改革
古庄 信一郎	宇美川の定期浚渫と須恵川の安全対策推進について
吉田 耕二	スポーツ指導員制度導入
稲永 正昭	立坑櫓の基金創設
二宮 美津代	住民と行政の協働に向けての取り組み

**お知らせ**  
**次回の定例会は3月7日予定**  
 傍聴に是非お越しく下さい。  
 詳細は議会事務局までお問い合わせください。  
 「議会だより」についてのご意見をお待ちしております。  
 ホームページ <http://www.town.shime.lg.jp>  
 TEL 935-1001 FAX 935-7070  
 議会事務局は町役場4階です。

地方自治振興のために尽された功績により、在職20年の表彰を受けた末藤議員。

**編集後記**  
 新しい年が始まりました。今年こそは時間に振り回されないよう、計画的に仕事をこなしたいものと思っております。

平成19年12月定例会の様子  
 が役場ロビーでリアルタイムに放映されました。来庁されておられた住民の方々がテレビに見入っておられたとのこと。「議会傍聴をした事はなかったが、次は来ようと思う」との声も頂きました。

定例会だけでなく、各常任委員会、特別委員会も公開されており是非傍聴下さい。

住民と行政の協働体制の構築が急がれる時、情報を共有し、お互いに役割分担をしながら町づくりに努めたいものです。

M・N

**広報委員会**  
 議会だより  
 発行責任者 古庄信一郎  
 編集委員長 堤久美子  
 副委員長 助村千代子  
 編集委員 二宮美津代  
 委員 大西勇  
 委員 大熊則雄  
 委員 吉田耕二

# 6町合併協議会設置議案 志免町可決!

## 賛成議員 8人・反対議員 7人で採択!

### 賛成

堤、助村、丸山、牛房、大西、吉田、熊本、二宮

### 反対

大熊、吉住、池邊、西川、稲永、大林、末藤

#### 議案内容

地方自治法及び市町村の合併の特例等に関する法律に基づき、粕屋6町の合併市町村基本計画の作成、協議を行うための規約を設置するために議決を求めること。

#### 議決までの経過

12月13日に合併問題調査特別委員会を開催し、執行部より議案内容の粕屋6町合併協議会規約の説明を受け、12月21日本会議で6町同時に議案の採決が行われた。

### ～賛成討論～

#### 堤 議員

4月の選挙においての活動中、6町合併に関心を示された住民が多くおられた。地方分権が叫ばれる中、志免町の将来がどうあるべきか真剣に考えておられると言うことだ。

6町合併は、平成の大合併において類を見ない好条件の合併である。まずは合併協議会を設置し、メリット・デメリットを住民に提示することが大事である。合併協議会設置イコール合併ではない。

協議会を設置することは、わが町の将来像を住民と共に協議していく前段であり、将来像を住民に知らせないまま白紙になることは住民にとって不幸だ。

#### 助村 議員

地方分権や少子・高齢化が進む中、みずからの判断と責任で魅力あるまちづくりを行うことが求められている。その有効な手段として合併が考えられる。しかし、今の現状では合併の状況を語る材料が余りにも少ない。

合併協議会の設置イコール合併ではなく、さまざまな角度から合併を行うか否かの協議を始め、住民へ積極的な情報提供が行われることにより、本格的に住民全体での合併議論が始められる。

将来のまちづくりを積極的に議論するために、合併協議会の早期設置を望むものである。

### ～反対討論～

#### 大熊 議員

なぜ法定協議会を今つくらなければならないかということで反対である。

急ぐべきではなく、法定協議会ができたならば合併が先行するというところで反対をする。

#### 末藤 議員

平成の大合併構想は、地方の町村発展のために計画されたものではない。地方切り捨てが進み、合併が進んでも地方が良くなるという保障はない。

6町合併案は、県が推進しているものであり、どの町と合併するかは自主的に住民が話し合っ決めていくことであり、県から強制されるものではない。合併ありきではなく、現状から出発し、住民本位のまちづくり、住民合意が前提である。

住民への情報提供が不十分で、合併の意識が醸成されてない中で法定協議会設置を急ぐべきではない。現行法の期限までに駆け込みを目指すのではなく、合併の是非を住民が下せるまで待つことが必要である。



▲協議会設置議案採択のようす (本会議場にて)

宇美・須恵・篠栗町 可決!  
粕屋・久山町 否決!

# 暮らしを守る大切な議案審査

～主な議案～

## 議会あれこれ



▲本議会の撮影状況

粕屋中南部6町の「法定合併協議会」設置議案が、2町の否決で暗礁に乗り上げていく状態ですが、町にとつて多くの重要な課題を審議している議会を、町民の皆様にもっと知って頂くために「開かれた議会づくり」に取り組んでいます。

その一環として、12月本会議から、議場の様子を庁舎一階ロビーのテレビに生中継いたしました。

また初日と最終日の全体的の様子を「ケーブル」

「志免ビデオ愛好会」と地域の報道機関「ケーブルステーション福岡」他多くの方々から大変なご協力を頂き心から感謝申しあげます。

※ご意見をお待ちいたしております。

「メールアドレス」  
simegiyo@yahoo.co.jp  
(記・古庄)

※放送のDVDはお貸しいたします。お問い合わせは議会事務局へ。

### 訴訟上の和解

志免五町内会の一部160人による損害賠償請求事件において、裁判所から職権による和解勧告が行われ、和解により原告と被告との間の紛争を早期解決することを働きかけ、和解しようとするもの。

#### 和解の内容は

- 一、原告ら施設周辺住民に長年にわたりいろいろ迷惑と健康に対する不安を与えてきたことにお詫びの意を表明する。
  - 一、解決金として700万円を支払う。
  - 一、原告は本件訴訟を取り下げ、被告は取り下げに同意する。
  - 一、紛争は全て解決した。相互に他に債権債務がない。
  - 一、訴訟費用は各自負担とするものである。
- 賛成多数

### 町内会・組長の補助金が報酬に改正された

町内会長報酬は均等割年額211,000円に広報配布戸数あたり520円、組長報酬は均等割年額9,000円に広報配布戸数あたり1,105円を乗じた額を加える。

全員賛成

### 賛成討論

大西議員

今回の訴訟問題は和解勧告が出され、両方の弁護士も賛成しており最善の時期である。周辺の住民全員を対象にという声もあるが今回はあくまでも原告と被告の問題である。

議員は町民の幸せ、安心安全、町益を第一に考えるべきである。これ以上裁判を続けることはお互い傷つけ合うだけとなる。「過去は変えられなくても未来は変えられる」との思いから賛成。



▲旧ゴミ焼却場

### さらに1歳拡大乳幼児医療費

子育て支援の一環として、入院外に係る乳幼児医療費の支給対象年齢を4歳未満から5歳未満に4月1日から改正。

全員賛成



### 後期高齢者医療特別会計設置

20年4月から後期高齢者医療制度が導入されるため新たに特別会計を設置する。

賛成多数

### 反対討論

末藤議員

75歳以上を後期高齢者と呼び、他の世代から切り離して独立した医療保険にするもので、際限ない負担増と差別医療をもたらす大改悪であり、後期高齢者医療制度自体に反対する。

### 保育園が民営化

4月より志免町別府保育園が民営化され、つくし保育園となることに伴い設置条例から除外される。

全員賛成

### 職員の自己啓発の休業に関する条例制定

職員の自己啓発 ①大等課程の履修 ②国際貢献活動等の休業に関して、休業期間は3年を超えない範囲。

全員賛成

### 職員の育児休業等に関する条例の一部改正

対象となる子どもが「3歳に満たない子ども」から「小学校就学まえまでの子ども」に変更。部分休業(2時間をこえない範囲)が入ったこと。職務復帰後の給与の調整2分の1だったものが、全期間となるもの。

全員賛成



### 『笑顔の写真』募集

議会広報誌の表紙を飾る「笑顔」の写真を広く住民の皆さまに募集致します。

役場4階 議会事務局まで写真をお持ち下さい。

## 植林活動の ための費用 6万6000円

財産組合が所有する篠栗の山林で植林活動を子どもたちに体験させるもの。(バス借上料等として)



▲みどりの大切さを伝えよう



▲下水道整備も進んでいます

下水道事業の資本に関して世代間の負担の公平化を図るための起債(借金)を起こしたため、一般会計よりの持ち出しが減る。

## 下水道事業 特別会計繰出金 9000万円減

## 下水排水路 しゅんせつ 浚渫委託料 1000万円減

委託料に差額が生じたため。



▲ごみでうまった排水路



▲きれいになった排水路

## 私立幼稚園就園助成金 1000万円減

対象人数が当初予算と人数の差が生じたためと助成金の支給条件が変更になったため。



▲未来っ子、たくましく育て

## 訴訟解決金 700万円

損害賠償請求事件について、福岡地方裁判所から和解勧告が行われたことによる訴訟解決金。

### 賛成討論

丸山議員

合併協議会負担金について、協議会ができれば合併市町村基本計画が策定される。地方分権の中、基礎的自治体としての体力が必要、合併しない場合も含めて議論されることを願う。

次に、訴訟解決金については、裁判所の勧めを受け入れる執行部の立場は理解できる。和解により紛争を早く解決し、適正な環境行政を推進して頂きたい。

以上、補正予算に賛成の意見とする。

## 補正予算

## 賛成多数で採択

平成19年度一般会計3回目の補正

1,689万6千円増 総額 98億8,123万6千円

全員賛成

### 特別会計補正

国民健康保険  
1,071万4千円減 総額 49億1,636万9千円

老人保健  
9,513万3千円増 総額 36億4,503万円

下水道事業  
18万5千円増 総額 13億7,518万5千円

水道事業  
62万3千円増 総額 9億1,320万4千円

### ～主な一般会計補正～

## 後期高齢者 医療証郵送料 124万8000円

平成20年4月から始まる後期高齢者医療制度の医療証を個人へ送付するための郵送費用。



## 粕屋6町合併協議会負担金 409万2000円

構成町負担金は各町、均等割りりと人口割りりで、平成19年度分の予算の合計が2,100万円。  
志免町負担は均等割り175万円、人口割り234万2,000円。  
(協議会が成立しなかった時は執行しない。)

## テレビ電波障害地区 アンテナ設置工事 420万円

公共施設ができた時に電波障害がおきた事によって、共同アンテナを設置していたものが老朽化したために戸別にアンテナを設置(志免四町内会61世帯)する。

## 男女共同参画推進 審議会委員報酬 10万4000円

後期計画にむけてアンケートの実施等で審議会開催数が2回増えるため。



## 総務文教常任委員会

### 中央小学校増築補強 大規模改造工事

進捗率20%。プレハブ校舎での授業の様子と工事現場を視察。

### 特別支援教育の 充実への取組

町単独の常勤学級補助員の配置など、個々のニーズに応じた支援がなされているとの報告を受けた。他町では導入されていない施策とのことであ

査研究を行う。  
志免町は単独で常勤学級補助員の配置、県の加配職員の活用などの対応がなされている。

### 少人数学級の導入

現在一学級を40人とする編成が行われているが、ニーズの多様化や学力向上を図るための、少人数制(30人)を望む保護者も多い。志免町での在り方、導入への検討をすべく調

# 調査・研究 報告

# 町の重要な問題を

# 委員会

## 建設常任委員会

### 委員長交代



建設委員長  
稲永 正昭



建設委員長  
熊本 廣

### 下水道事業の推進

7、8月発注分はほぼ完了。9、10、11月分は現在進行中。  
水洗化状況は、処理区域内人口32,478人に

### 地域防災システムの構築

災害対策本部組織図があり、各課ごとの役割分担が明記してある。  
今後は、町内会ごとの自主防災組織の確立や、災害時、住民に情報がスムーズに流れ、被害を最小限にするため、地域防災システムの構築を進



▲みんなで、風・水・害に備えましょう!

## 厚生常任委員会

### 委員長交代



厚生委員長  
丸山 真智子

10月の委員会の中で西川委員長が辞任。丸山議員を委員長に選出。



▲シーメイト「青空」でがんばっておられます

### 東学童保育所建設

12月完成を目途に進めていたが確認申請審査に時間を要し竣工がおくられる。この報告を保護者全員と指導員に周知するよう要請。

### 健康づくり

平成17年度の1人当たりの老人医療費が福岡県が全国1位、その中で志免町が1位、全国で7位となったことが報告され、予防対策が後手後手に回った結果だとの指摘をしている。

### 地域生活支援事業の課題

障害者自立支援法で、応能負担から応益負担に変わったことで負担がふえ、障害者の方々が困惑されている報道もあるが、町としては障害者程度区分の決定や支給量決定基準もでき、公平感のある制度であるとの見解。制度が次々に変わる中、障害者の負担軽減策も政府、与党も考えているとのことであり、委員会でも調査・研究をする。

### 保育園民営化

つくし保育園と別府保育園の保護者及び職員との対面式が行われた。職員採用は別府保育園の嘱託職員20人のうち希望者15人が採用され、園児の環境の変化に対応、障害

めて行くとのこと。

## 議会運営委員会

議員提案による「報酬及び費用弁償等に関する条例の改正」についてはそのメリット・デメリット等、県内各町の状況や在り方について調査した結果、現状を改正することで一致したが、色々な観点から深く掘り下げ審査することとし継続とする。

9月議会と同じく、ケーブルテレビを入れる。またビデオ収録し、庁舎1階ロビーで同時放映を行うこととする。

## 志免跡地対策特別委員会

国鉄志免炭坑ばた山開発推進協議会において「(株)SNC」(旧(株)新日本コンクリート)の借地願いについて審査。

借地料の据え置き、貸借期間は3年間との願いが出され「借地料を少しでもアップ」とする要請をすることで、借地を認めることとした。



▲ばた山すそ野の企業

## 議会広報特別委員会

11月26日県自治会館で行われた、町村議会広報研修に参加。

わかりやすい紙面づくりについて、しっかり学習。

今回から新しく、一般質問で提起された施策についての追跡を掲載する。

住民に開かれた議会、情報の共有による協働のまちづくりの一助となるよう努力したい。



▲待ちから攻めへ!

## 一般質問 11人

# 厳しく町政を問う

## 行財政改革

### 徴収体制について

答弁：待ちから攻めの徴収



堤 久美子 議員

堤 商売人にとってはきめ細かなサービスと顧客管理は必須条件、税の滞納額の徴収体制についてのようになされているか。  
町長 交付税あるいは補助金等がカットされた分の税源移譲が生きてくるように徴収体制の強化を図っている。  
税務課長 6人の職員と嘱託2人採用し、19年度は待ちの徴収から攻めの徴収ということで滞納整理に当たっている。

### 各地域の中に宅老所を

答弁：検討課題とする

堤 高浜市では、実に無駄のない経営手法で宅老所が運営されているが、高齢化率30%台の地域に宅老所を設ける考えは。  
町長 地域福祉の時代を迎え、地域で高齢者の見守り事業に積極的で、各町内会14ヶ所で生きがい対応型デイサービスをしているのが、宅老所的なことにつながって高齢者の居場所づくりの観点から整備を進めていく。  
今後の検討課題である。



▲ボランティアによる昼食はおいしい!(高浜市の宅老・宅児所併設のようす)

## 予算90億 嫌われる町長たれ

答弁：危機感を持ち取組む



牛房 良嗣 議員

牛房 大丈夫といわれる町の財政で基金の米びつはあと3年で底をつく。90億円の予算へ収めることが必須課題、対策は。  
町長 生き残りをかけ行政の運営から経営へ転換し計画の完遂と人材の育成に取組む。  
牛房 90億円の予算編成には痛みがともなうもの、心を鬼に、嫌われる町長になって行財政改革仕上げの2年を取組んで頂きたい。  
新職員全員徴収業務を答弁：検討する

牛房 毎年10億円の未納、7千万の不納欠損、厳しい環境下対策は。  
町長 待ちの徴収から攻めの徴収へ検討中。  
牛房 二つの提言をした。一つは徴収体制の強化現在の8人から増員へ二つ目は新職員全員を1年間税務課へ配属徴収係の任に当たる。厳しい徴収業務で鍛えられ新しい役場職員の誕生。町長の勇気ある実行を。

## 一般質問 質問事項の事後処理

答弁：進捗の確認を行う



丸山 真智子 議員

丸山 これまで質問した8・3運動、テイクテンプログラム、防災、堅坑槽の活用、マイ箸の推進など検討するとの答弁後はどう対応しているのか。  
資料も取り寄せ渡しているものもある。

誰が責任を持つのか道筋が見えない。  
町長 言いつ放し受け放しになっていないかチェックをさせている。  
ご指摘はご指摘として真摯に受けとめたい。  
生かせ子ども権利条例答弁：浸透を図っていく  
丸山 子どもの権利条例ができて絵に書いた餅では何もならない。  
いじめを受けた時に救済機関がある、そのことを浸透させていただきたい。  
教育長 いじめも潜在している部分も多いのではないかと思う。  
子ども達にも理解できる相談員がいること等を啓発していく。



▲11月18日子ども達による「子どもの権利フェスタ」

## 少子化対策 プランの課題は何か

答弁：全庁的な取り組み



二宮 美津代 議員

二宮 志免町子ども未来プラン策定の中間年として、これまでの事業の成果を評価し、後期計画へ向け課題を出すべき。  
総務課長 次世代育成行動計画策定の段階では、全庁的に担当職員で行ったが、進捗状況について推進協議会の設置も盛り込みながらその取り組みはなされていない。  
これらを見直すとともに、実施する方向で進める。

二宮 すべての子どもたちの支援計画が立てられてはいるが、本当に必要とする人に必要な支援ができていないのか。  
町長 行財政改革の中で人員を削減し、事務量も増える中で取捨選択をした、めり張りをつけたい  
○協働体制への環境整備その進捗状況



▲お父さんと一緒に参加したよ(平成の森公園)



▲団体資源回収



吉住 龍太郎 議員

**吉住** 今年度、集団資源回収奨励金が781万円の削減に至っているが、その内容は。  
**生活環境課長** 昨年12月に吉住議員が一般質問され、古紙並びに状況が回

## 財政改革

### 補助金のあり方

答弁…段階的に見直す

復してきたので古布以外の新聞、段ボール、雑誌、チラシ類につきましては業者に対する補助金のうち、古紙類については600万円を0にしている。

**三役の退職手当は問題**  
答弁…退職金カットなし

**吉住** 三役の退職金(4年毎)は財政改革に於て、一番身近な問題であるがカットすべきではないか。  
**町長** 今私どもがしなければならぬのは、行政改革に取り組みと同時に、その中でやはり自分がいただいている以上の仕事をすることであり、私がいろいろカットしたりすると、ほかの方にも影響する。



助村 千代子 議員

## 予防の取り組みから

### 医療費削減

答弁:状況をみて検討する

**助村** 高齢者の死亡の原因の一つ(第4位)が肺炎、肺炎球菌ワクチンの予防接種に助成金を。  
**町長** 全国で51の市区町村でワクチンの接種費用に対する公費助成金を実施。

今後検討する。  
**助村** 胃潰瘍や胃がんの原因とされるヘリコバクターピロリ菌の検査、除菌も簡単に行える。  
基本健診に加えてピロリ菌の除去の取り組みを。  
**健康課長** 九大が粕屋町でモデル研究を行っているのでその結果を見て進めたい。



▲夏を涼しく、緑のカーテン(館林市 第五小学校)

**身近な地球温暖化対策を**  
答弁…役割を果たしたい

**助村** CO<sub>2</sub>削減のためにも役場、保育園、学校等で緑のカーテンや屋上緑化等の推進が必要。  
**町長** 来年の予算に壁面緑化の施策を盛り込み、公共施設も取り組みの実行段階に移りたい。  
その他の質問  
○子どもによる子どもの権利条例のパンフレットを

## 地域分権

### 町長の決意を問う

答弁…しっかりと取り組む



吉田 耕二 議員

**吉田** 地域分権は、広域合併とは表裏一体。地域でできる事は地域にまかせる。

このシステムを構築する必要がある。  
**町長** 合併によってそれぞれの地域が今まで以上に輝くような、そういう努力をして行かなければならない。  
6項目の推進方法を掲げている。  
今からしっかりとした取り組みをして行く。

**人材育成への取り組み**  
答弁…力を尽くしたい

**吉田** 合併の目的は、自治体間の競争を勝ち抜く人材の確保と思う。人材育成、評価制度の

整備が必要では。  
**町長** 人材育成の基本方針を定め、可能性を最大限引き出す事を目的として、新しい時代の人材育成に力を尽くす。  
どのような評価制度を導入するかは、今後検討して行きたい。

○全国学力テストについて  
その他の質問



▲みんなで明るい地域づくり(鏡町内会)

## 臓器移植

### 保険証に表示欄を

答弁:4月から実施する



大西 勇 議員

**大西** 臓器移植を必要とする患者は毎年千人から二千人が亡くなっている。人工透析の患者も毎年ふえている。

臓器提供をする方が多くなれば、移植を希望する患者が一人でも多く助



▲望まれる提供者の増加

かる方向に進む。  
その啓発運動としてぜひ実施すべきだ。  
**町長** 祈る思いで移植をまつている方々に情報の提供をする。臓器提供の意思表示欄を設けた新たな保険証を発行する。

**財政健全化計画の推進**  
答弁…計画を立てるべき

**大西** 財政計画の指標、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の策定をどうするのか。  
また、実質公債費比率に数値目標を設定すること、今以上新たな借金、起債を起こさない等、予算統制をするべきだ。  
**町長** 数値、計数をしっかりと把握し健全な体づくりをしていく。また、議会と一体となって厳しい時代を乗り切っていくべき。



▲課題の多い制度だ



末藤 省三 議員

末藤 後期高齢者医療制度は、保険料は年金から天引き、払えない人から保険証の取り上げ、資格証明書の発行などお年寄りの命綱を絶つような仕打ちはやめるべきだが。

## 高齢者医療

### 後期高齢者医療中止

答弁…国の制度のことだ

一般質問は議員個々の自由編集で掲載しております。全文は会議録をご参照ください。

健康課長 制度的には協力体制ができています。

末藤 受診を徹底するために入院助産利用は。

健康課長 制度的には協力体制ができています。

健康課長 郡内の担当者会議で5回の検診ができるように調整している。

末藤 妊産婦健診については15回の健診が望ましいが、経済的な理由もあつて受診できない。今回厚生労働大臣通達があつて、5回の検診を公費で行うような内容だが。

健康課長 郡内の担当者会議で5回の検診ができるように調整している。

末藤 妊産婦健診については15回の健診が望ましいが、経済的な理由もあつて受診できない。今回厚生労働大臣通達があつて、5回の検診を公費で行うような内容だが。

健康課長 郡内の担当者会議で5回の検診ができるように調整している。

末藤 妊産婦健診については15回の健診が望ましいが、経済的な理由もあつて受診できない。今回厚生労働大臣通達があつて、5回の検診を公費で行うような内容だが。

健康課長 郡内の担当者会議で5回の検診ができるように調整している。

末藤 妊産婦健診については15回の健診が望ましいが、経済的な理由もあつて受診できない。今回厚生労働大臣通達があつて、5回の検診を公費で行うような内容だが。

健康課長 郡内の担当者会議で5回の検診ができるように調整している。

末藤 妊産婦健診については15回の健診が望ましいが、経済的な理由もあつて受診できない。今回厚生労働大臣通達があつて、5回の検診を公費で行うような内容だが。

健康課長 郡内の担当者会議で5回の検診ができるように調整している。

末藤 妊産婦健診については15回の健診が望ましいが、経済的な理由もあつて受診できない。今回厚生労働大臣通達があつて、5回の検診を公費で行うような内容だが。

健康課長 郡内の担当者会議で5回の検診ができるように調整している。

末藤 妊産婦健診については15回の健診が望ましいが、経済的な理由もあつて受診できない。今回厚生労働大臣通達があつて、5回の検診を公費で行うような内容だが。

健康課長 郡内の担当者会議で5回の検診ができるように調整している。

末藤 妊産婦健診については15回の健診が望ましいが、経済的な理由もあつて受診できない。今回厚生労働大臣通達があつて、5回の検診を公費で行うような内容だが。

健康課長 郡内の担当者会議で5回の検診ができるように調整している。

末藤 妊産婦健診については15回の健診が望ましいが、経済的な理由もあつて受診できない。今回厚生労働大臣通達があつて、5回の検診を公費で行うような内容だが。



## 要望・陳情・請願・意見書

要望	要望	要望者	内容	採決結果
「コミュニティーのへや」の設置に関する要望書	松ヶ丘町内会 会長 安松迪雄 ほか	県営松ヶ丘団地に、介護予防や高齢者の生きがい事業など福祉環境の拠点となる「コミュニティーのへや」の設置を強く要望したい。	全員賛成で採択 県へ意見書提出	
請願	請願	請願者	内容	採決結果
「新農政改革」の見直しに関する意見書の提出を求める請願	粕屋農政連 委員長 百済新次	品目横断的経営安定対策、農地・水・環境保全向上対策や農地政策改革は今後我が国の食料、農業政策を大きく左右するものと危惧される。担い手育成の指導を充実強化する。	全員賛成で採択 全国へ意見書提出	
悪質商法を助長するクレジットの被害を防止するため、割賦販売法の抜本的改正を求める意見書を政府等に提出することを求める請願	福岡県司法書士会 会長 荻林 和則	消費者に対し、安心・安全なクレジット契約が提供されるために、クレジット会社の責任においてクレジット被害の防止と取引適正化を実現する法制度を求める。	全員賛成で採択 全国へ意見書提出	
意見書	意見書	提出者	内容	採決結果
取り調べの可視化の実現を求める。	助村 議員	取り調べの全課程を録画録音することで自白の任意性、信用性を迅速・的確に判断し、冤罪事件を防ぐことにもつながるので裁判員制度には必要不可欠である。	全員賛成で採択 全国へ意見書提出	

## グラウンド 砂埃り防止の対策は

答弁：具体策を検討する



大熊 則雄 議員

大熊 シーメイトの多目的グラウンドは、黒い背広の白くなるほど砂が舞い健康にも悪い。対策をどう考えているのか。

町長 10月20日のグラウンドゴルフ大会時に目があけられない状況に遭遇した。周辺地域の皆さん

大熊 シーメイトに渡る横断歩道はつけられないのか。事故があつてからでは遅い。

地域整備課長 頑張つていきたいと思う。

町長 課長が答弁しましたが、警察の所管であり、私どもの手のうちででき

には日常的に大変なご苦労があると思う。課長会で具体策について検討し、指示している。

シーメイトに渡る歩道  
答弁…頑張りたいと思う



▲整備が待たれるシーメイト多目的グラウンド

町長 課長が答弁しましたが、警察の所管であり、私どもの手のうちでできることであればお答えできる、私なりにいろんなルートでこのことについての要請をしていきたいと思う。

## 医療費対策

### 高齢者対策室の設置

答弁…十分に検討する



西川 蓉子 議員

西川 専任職員で構成した、住民にわかりやすい対策室や係を設置し、まず1年間その後、規模を大きくするなどしてはどうか。

副町長 元気高齢者対策室設置という提言をいただきましたので、課長のみでなく、幅広く職員の意見も聞きながら可能かどうか、十分検討したい。

通学路の調査は充分か  
答弁…安全と認識した

西川 サンリヤン町内と別府二町内児童が通学している子どもたちの安全



▲元気で長生き、よりよい対策を(笑い塾)

は守られているのか。狭い道はカラー舗装すべき。学校教育課長 学校と保護者、地域で安全確保に努めている。

町長 通学路の見直しを地域でしなければならぬ。カラー舗装はいろんな問題もある。よく検討して取り組みたい。



# 総務文教常任委員会

目的…… 行財政改革への先進的取組について  
 日程…… 11月7日～8日  
 視察先…… 兵庫県播磨町役場  
 枚方市（ひらかた市民活動支援センター）

播磨町では、課毎の担当から部制とするグループ制。指定管理者制度と民間委託。入札制度の説明を受ける。入札制度改革については、郵便応募型条件付き一般競争入札

大阪府枚方市では、住民との協働の在り方を学習。ひらかた市民活動支援センター（廃校再利用）にて、活動の実際を視察。阪神・淡路大震災をきっかけとし、ボランティアの在り方や、その役割が市民に根付いてきたこととである。志免町でも行政と住民との開かれた議論が必要。



▲枚方のNPO団体との懇談会・協働体制のすばらしさに感服

# 委員会

## 建設常任委員会

目的…… 地域防災について  
 日程…… 10月31日～11月1日  
 視察先…… 兵庫県広域防災センター 阪神・淡路大震災記念館

初日は広域防災センターを視察、防災の拠点として全県域をカバーする総合的な機能を兼ね備えた施設であった。敷地内には防災公園、消防学校、体験学習施設さらには人材育成のための研修・訓練施設等が整備され、県民の防災意識の高揚に努めていた。二日は阪神・淡路大震災記



▲会派制について熱心に討議

## 厚生常任委員会

目的…… 学童保育の在り方と保育園の民営化  
 日程…… 10月29日～30日  
 視察先…… 愛知県高浜市

保育所6園のうち2園を民営化したのに伴い、第三者評価を導入し、毎年評価を行い公表している。評価は各園をランクづけするのではなく、各園の気付きに役立てている。また学童保育を見学した。小学校に隣接した児童館内に部屋があり、シルバー人材センター会員を活用している。教員OBの会員が週1回、希望者のみ勉強を教えている。翌日は宅老所を視察。5ヶ所を社会福祉協議会に委託し、ボランティアが400人以上手伝っている。その他にもリタイア後の居場所づくり、活躍の場をつくっている。高齢者事業の参加者やボランティア参加者の医療費分析を大学と提携し行い、効果を検証している。1人当たりの老人医療費も低い今後参考にし、活かしていくべきである。



▲ボランティアが支えるそれぞれの事業

## 議会運営委員会

目的…… 町のレベルで会派制を導入している自治体で、その在り方や課題について学習する。  
 日程…… 10月11日～12日  
 視察先…… 大阪府太子町 京都府大山崎町

太子町議会は3会派。大山崎町議会は6会派で両町とも一人会派が認められており、会派から代表を出すにしても、採決を取るのも個々の意見となる等の課題がある。会派制を導入したメリットとしては、会派での学習会、視察が行いやすい。会派代表質問が行えると報告されていたが、政務調査費はどちらの町も個々に支払われていた。会派毎の部屋が設置され備品等器機も備わっており資料がすぐ取り出せる等配慮がなされていた。志免町議会にどう反映させるかについては、もう少し調査・研究をするべきだと思われる。



▲競技場内の資機材(非常食・トイレ等)備蓄倉庫を見学